

◆表示器類のLED化

電球より消費電力が少なく長寿命であるLED（発光ダイオード）を信号や踏切関係の灯器類や駅の行先表示器などの設備に使用し、省電力化を図っています。



LED化された行先表示器

◆駅照明の省エネルギー化

省エネルギー化を図るため、平成23年1月の八幡市駅の駅舎改修の際に、LED照明を150台導入しました。そのほか、駅照明のHf蛍光灯（高周波点灯蛍光灯）の導入を進めています。Hf蛍光灯は従来の蛍光灯に比べて約40%の消費電力削減が期待できるほか、ちらつきや照明器具からの騒音が抑えられる効果があります。



LED照明



Hf蛍光灯

◆新淀駅での省エネルギー設備

新淀駅では環境対策として「調光システム」を採用しています。調光システムは、屋外からの自然光の明るさを照度センサーが検知し、それに合わせて照明の照度を25~100%の範囲で調整するシステムです。

新淀駅は、ホーム屋根に膜構造を採用していることとコンコース階に窓を多く設置していることから自然光が採り入れやすくなるため、ホームとコンコースの蛍光灯に本システムを導入しました。

通常、金属製の屋根材を使用した駅の場合、照明は常時点灯していますが、本システムの場合、ホーム階の照明は約半分の点灯時間で済みます。



新淀駅の調光システム



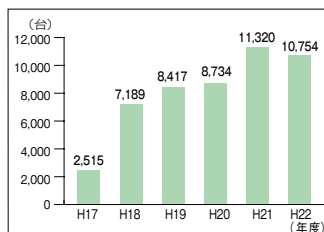
膜構造を採用したホーム屋根

地球温暖化防止の取り組み(公共交通利用促進)

◆パーク&ライド

当社では、京都方面に訪れる観光旅客のパーク&ライドを行政機関と協同で取り組んでいます。京都東山地区には、年間約1,500万人の方が来訪されますが、特に秋の行楽シーズンの休日に集中するため、周辺道路は大渋滞し、バスの遅延や緊急自動車の通行が困難になるなど、地域交通問題となっています。

そこで、大津市の浜大津公共駐車場を掲載したパンフレットを高速道路パーキングエリアなどで配布し、マイカー利用者に浜大津パーク&ライド利用者の推移



パーク&ライドへの移行を促すことで、京都市内の渋滞緩和と公共交通利用促進による環境負荷低減を促進させようとしています。これに対して当社もパンフレット作成や情報提供に協力しています。

平成22年度は天満橋駅（土佐堀通沿い）、関目駅、藤森駅、東福寺駅、七条駅、三条駅で駐輪場の新設や（東福寺駅と七条駅については京都市自転車駐車場の整備および管理運営を行う事業者を選定された）、増設および再整備しました。



三条駅駐輪場



天満橋駅駐輪場

◆他社線との連携強化

京都は年間約5,000万人もの観光客が訪れる国際観光都市であり、なかでも紅葉シーズンは観光客数がピークとなり、近年では、自家用車に加え、JR京都駅から発着するバスやタクシーなどによる交通渋滞と排気ガスによる環境問題が深刻化しています。

そこで、当社は西日本旅客鉄道(株)と協同し、駅の表示やパンフレットなどお互いの路線表記を充実させ、東福寺駅を経由した鉄道の乗り継ぎ（「JR」京都駅⇒「JR・京阪」東福寺駅⇒「京阪」七条・清水五条・祇園四条）をPRし、交通渋滞のない鉄道の利用を促進することで、環境負荷軽減に努めています。

◆サイクル&ライド

市街への自動車の流入を抑制して、電車の利用を促進するため、関係行政と連携し、必要に応じた駐輪場の設置や現在問題となっている放置自転車対策についての協議を進めています。